



学校だより

2024年1月31日

No. 9

射水市立堀岡小学校
校長 池田 亨

新しい年を迎えました 今年もよろしくお願いいたします

1月9日（火）子供たちが無事に登校し、第3学期が始まりました。今年は、1日に能登半島地震があり、県内でこれまで経験したことのない震度5強の地震に遭い、津波注意報も出されました。堀岡地域でも遠くに避難したり避難所等に避難をしたりした人が多くいました。幸い子供たちや保護者には、直接被害はありませんでしたが、親類や知人等で被災した人もいます。そうした中で、子供たちの元気な姿を見て、教職員一同ほっと安堵しました。

始業式では、この地震の経験を踏まえ2つのことを話しました。

一つは、命の大切さです。避難しているとき子供たちは、とても怖かったと思います。改めて自分の命や家族、友達の命がかけがえのないものであること、尊いものであることを伝えました。

もう一つは、一日一日をしっかりと生きていくということです。隣の石川県の能登では、元気であるかどうか分からない人や家に帰れない人がたくさんいること、富山県でも住む家をなくして水、電気もなく不自由な生活をしている人がいることを伝えました。それでもそうした人たちは、不自由でも毎日、一生懸命助け合って生活しているということを話しました。

今学期も子供たちの目当てや願いが達成できるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

読み聞かせ感謝の会 1月18日（木）1～4年

読み聞かせのボランティアの方へ感謝の気持ちを伝える集会を行いました。4年生が中心に準備や進行をしました。1、2年生は、詩の音読、3年生は、オリジナルの紙芝居、4年生は、クラスで考えた詩の音読をプレゼントしました。それぞれの学年の学習したことを発表する場にもなりました。また、ボランティアの方から大きなペープサートを使った話を聞きました。子供たちは、ダイナミックなペープサートと話の内容のおもしろさに引き込まれ、みんな聞き入っていました。すてきな交流活動となりました。



<ペープサートを使って>

～たくましく生きる力を育む～

最近、昼休みの時間、自分の目当てに向かって取り組んでいる子供たちが多くいます。音楽室で鼓笛隊の打楽器やトランペットを6年生や先生から教えてもらっている子。2月のなわとび大会に向けてジャンピングボードで練習を繰り返している子。漢字検定にチャレンジして受験した子。県の書初大会に向けて練習する子。この他にもスポーツ少年団や放課後の習い事で自分の目当てに向かって取り組んでいる子供たちがいます。自分なりの目当てをもち、それに向かって努力し続けることは、成長する上で大切な経験です。そうした機会を一人一人の子供たちがたくさんもってほしいと思います。そうした経験の積み重ねが、たくましく生きる力の糧となります。保護者の皆様のご支援をお願いいたします。

学校評価と3学期の取組について

保護者の皆様には「2学期を振り返って」のアンケートにご協力をいただき、ありがとうございます。本年度の重点目標（アクションプラン）に対する2学期の結果を報告します。その他の結果については、裏面をご覧ください。

アクションプラン（子供の具体的な行動目標） 【目標値 %】		達成度		※参考(アンケートや教職員評価より)	
		月	児童	保護者	教職員
〈確かな学力〉 学び合う子供	1日1回は自分と友達の考えを比べて表現する。【目標80%】	7月	85%		77%
		12月	92%		93%
〈豊かな心〉 認め励まし合う子供	目を合わせて、元気な「ほがらか」挨拶をする。【目標90%】	7月	94%	87%	92%
		12月	92%	89%	86%
〈健やかな体〉 鍛え合う子供	自分の生活を見直し、早寝の習慣を身に付ける。【目標80%】	7月	75%	65%	69%
		12月	73%	62%	78%

アンケートを基に成果と課題を振り返り、3学期は下記のこと重点的に取り組んでいきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

〈確かな学力〉を身に付けるために

- ・「でも」「だけど」等の新たな視点からの発言をしようとする子供の言葉を大切に、子供の多様な考えを引き出す授業づくりを目指す。
- ・考えの「ずれ」が生まれ、議論（話し合う）したくなるような課題やテーマを準備する。
- ・「考えを深める言葉チャート」を提示して、話し合いの場で活用し、子供に意見をつなげてさらに深めようとする意識をもつことができるようにする。

〈豊かな心〉を育むために

- ・担任が挨拶について振り返る機会をつくる。（帰りの会等）
- ・期待する挨拶がどのようなものかが分かりやすい挨拶のキャッチフレーズをつくる。
- ・2学期に引き続き、学年ごとのあいさつ運動、挨拶の意味を考える場を設けて子供たちを啓発する。

〈健やかな体〉をつくるために

- ・早寝の習慣を身に付けるために、学級指導を行ったり、委員会で呼びかけたりしたがなかなか身に付かない。引き続き子供たちと保護者に呼びかけていく。
- ・運動量が少し減ってきているので、早寝を促すことができるように運動量を増やす。

お願いします～地震に遭ったらどうする～

先日、市の小中学校の校長研修会で小中学生が登下校中に震度5以上の地震に遭った場合についてどう指導するか話し合いました。以下のことを確認しました。

- ・自分の身を守る（ランドセル等で頭を守る。塀や建物の近くから離れる。）
- ・避難する場所をその場で自分で決めて避難すること（近い避難所）
- ・避難所等で自分の名前、住所などはっきり伝えることができること

この他にもいろいろなことが考えられます。大切なことは、日頃から話し合っておくことです。ご家庭でもぜひ災害に遭ったときのことを話し合ってみてください。